

目的は基本秩序の変更

経済が戦争であれば、相手の基本秩序の変更を迫り、「憲法」を書き換えるのが最終目的です。

日本の経済実態は、明らかに社会秩序をグローバル（アメリカ）主義にすでに司法制度まで変更させられました。完璧な敗北です。前に書いていますが、内政干渉の「日米経済調和対話」の年次改革要望書をなぞる

政権に追随すれば、最低限、米企業の巨額のおこぼれが確実です。平成の自民や野田政権自体、「トロイの木馬」でしょう。

前原氏の円高（ドル安）デフレ対策が膨大な為替差損を出す米国債（外債）の買入は、誤解でなければ野田総理と並ぶ亡国の旗手です。松下政経塾自体外国に国富を献上する国会議員の手数料稼ぎの塾に見えてきます。なぜそんなお粗末？エセ議員を何人も輩出するのでしょうか。

すでに外国機関の金で根回しが済んでいるから？。北陸地方の状況を見ても、金融ゲームのリーマンショックとは質が違います。

我慢比べゲームで経済は年末にかけ一層の落ち込みを予想、深刻化に進むと思われまふ。最低限、対応や覚悟が必要です。この時代、地方は稚拙な中央政権にお任せで引きずられ、各藩の歴史に学ぶことは出来ないのでしょうか。

祝ノーベル賞

昨日、京都大学教授山中伸弥さんに医学賞。記者会見で「日本という国に支えていただいて、日の丸の教えがなければ、この素晴らしい受賞はなかったと心の底から思った。まさに日本という国が受賞した賞だと感じている」と語り、先人を立てる人間の素直さに泣きました。改めて思う。何事も、仕事も研究もすべて人間性が優先します。

失敗というどんな困難でも考え方一つで変わります。知恵と工夫と努力が十分だったか。

起きる事はすべて好い事

「天を仰いで恥じず、地に付して恥じず」ならば、無駄な失敗はないものです。すべて好い事として受け止め、どんな困難であれ「天命」の姿勢を持って、前向きになります。失敗の反省は貴重です。失敗を繰り返さない為に行うのです。

世の中、失敗するのが当然95%は思うようにならないと考えるべきです。後は失敗を小さくすることだけです。

上手に行くと思っているから失敗で落ち込みます。運を天に任せ、天はすべてを支配、取り計らってくれます。単に失敗しただけです。世の中で起きる事で人災の原発以外に無駄がありません。いかなる時でも、前向きに捕らえる姿勢が必要です。

決断に絶対的な確実性はない。明らかに変わったときはすでに手遅れとなっている。(P・ドラッカー)

致命傷とならない失敗を繰り返し、九敗でも一勝を勝ち取れば最良。(柳井正)

なぜ経営者は「泥沼」にマールか。それは泥沼が想定外だからでしょう。

泥沼を回避

「だから鬼」になる機敏な行動(損切り)が難しいので結果、必然的に多くの人を巻き込み影響が増します。財務省下の銀行(金貸し)は奴隷を生み、融資の社会的責任は重大です。法律が許しても、高

い倫理観なしの仕事は、真の商売でない。

選択の意思決定において、決定者が影響を受けるのは、自ら信じる数少ない事例に囚われ、その影響を強く受ける。そして

真実に近い解釈に関連付けられた広い範囲の「決定」が、多く頭に入っている人は、結果的に正しい「選択」が可能になる。

高山でも読めない暗雲が架かってくれば、己の「直観」を信じ欲を離れ、一端撤退すべきです。

選択において、当然責任者は答えを持っているものですが、行動の前に相談、当事務所

通常、「選択」を誤用するのです。人は重要な決定をするとき、無意識に「問題」の一致点を見出す作業をやり、過去に蓄積された「経験」は善意であっても偏ったものであれば、何の教訓にもならない。

を含め、参考に気を休め、参考に意見を聞くことが必要でないかと思います。



(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
 2012年10月9日 (火) NO. 272
 地域から明るい未来を作ろう